

京三中・山城高同窓会 会誌

双ヶ丘



表紙の説明

この絵は未来へと進む自分をイメージして描きました。

カメはゆっくりながらも確実に前へと進んで行きます。

しかし、未来への道は楽しいことばかりではなく、不安や恐れなど形のない様々なものが自分を取り巻いており、それらを具現化させたものが周りのタイルです。

そんな中でも未来への強い意志を表したものがこの絵です。

三年九組 竹村 勇輝

学校だより



「山城スピリット」

校長 前島 巖

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育に御理解・御支援をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年度から今年度にかけて、京都府の公立高校は、制度上の大きな変革を遂げました。入学者選抜においては、総合選抜制度から単独選抜制度へと移行し、京都市・乙訓地域が1つの通学圏になりました。また、これまでの普通科におけるⅠ類・Ⅱ類といった類・類型制度は廃止されて「普通科」に一本化されました。各学校は、それぞれ特色あるコースなどを独自に設置し始めています。本校でも、平成26年度入学生から、普通科にスタンダード、アドバンスト、スーパーアドバンストの3コースを設置して、コースの特徴を活かした教育に取り組んでいます。

本校では、普通科に加えて、平成19年度から文理総合科を設置しています。その教育成果を普通科においても活かすべく、「グローバル社会で活躍できる力を育み、将来、様々な分野で社会に貢献する人間を育成する」を本校の教育ビジョンに据えて教育改革を進めてきました。将来、社会でさまざまな課題に直面したときに、それを解決していける力を身に付けておかねばなりません。多面的に物事を観て考える力も必要になります。本校では学校全体として、文系・理系の特徴を併せもった教育内容でリベラルアーツの精神を育み、考える力、判断する力、表現する力を伸ばすことを目指しています。そのために、「山城高校アカデミックプロジェクト」と名づけた教育実践プログラムを組み、特色ある教育づくりに取り組んでいます。

例えば、サイエンスの分野で、日本の大学に来て研究に取り組んでいる海外の研究者を招いて講演を聴いたり、人間探究として「連歌」の実作に取り組みながら日本の文化を体験的に学んだりしています。また、今年度、京都府教育委員会から

研究指定を受けた「グローバルネットワーク京都」の論文コンテストにおいては、本校1年生中村悠さんの「おもてなしの心」が最優秀賞に輝き、土井葉々子さんも優秀賞を受賞しました。さらに、1・2年生合同チームで参加した交流会ポスターセッション部門でも最優秀賞に輝き、プレゼンテーション部門でも優秀賞を受賞して、それぞれ小田垣教育長から表彰を受けました。



グローバルネットワーク京都交流会

また、今年度も、ニュージーランドや台湾等からの高校生と交流を深めるなど多様なグローバル活動に取り組みました。10月上旬には、ドイツ姉妹校のフィルダーベンデンから20名の高校生の訪問があり、1・2年生の各クラスに分かれて1週間以上にわたって授業をいっしょに受けながら、様々な異文化交流をもつことができました。また、生徒の家庭にホームステイしたり、茶道や着物の着付けなどをいっしょに取り組むなど、それぞれの活動を通じて交流を深めることができました。このドイツ姉妹校との交流にあたっては、同窓会からひとかたならぬ御支援をいただいていますことに深く感謝申し上げます。

課外活動においては、86%の生徒が部活動に取り組み、ハイレベルな文武両道をめざして、学習と部活動の両立に汗を流しています。中でも、弓道部は今年度も全国高等学校弓道選抜大会に出場しました。また、その直前にあった近畿大会においても、準優勝に輝いています。ダンス部も昨年に引き続き、日本高校ダンス部選手権に出場し、審査員特別賞を受賞しました。

伝統のサッカー部はインターハイ京都府予選でベスト4、男子バスケットボール部も府の大会で3位、硬式野球部も23年ぶりに夏の地区大会でベスト4進出といった活躍の年となりました。また、今年度は、女子バレーボール部が近畿大会に進出した、卓球男子団体も府の公立高校大会で久しぶりに優勝して近畿大会に出場することができました。テニス部も近畿の公立高校大会に今年も出場を果たしています。

山城高校には、学校を愛する心や伝統を大切に作る心と共に、新しい道を切り開いていくパイオニア精神が息づいています。これまで大切にされてきた自主・自立・共生の精神と共に一つになって「山城スピリット」としていつまでも引き継がれていくことを願っています。山城高校に入学したら、一人ひとりが「チーム山城」の一員として高め合い、卒業後も生涯にわたって「山城高校」の絆でつながっているような学校であり続けたいと思います。

同窓生の皆さまにおかれましては、ますますの御発展をお祈り申し上げますとともに、これからも「チーム山城」への御支援をよろしくお願いいたします。

イラストレーション部

顧問 石田 智子

- ①平成 26 年度 主な取組
- ②部員の構成
- ③次年度の抱負

1 年から 3 年まで 24 名の部員がおり、部誌の定期的な発行、山城祭でのイラスト展示などを中心とした活動をしています。26 年度は、山城祭大看板の制作、マンガ甲子園予選参加、プロの漫画家による講習会受講、各種ポスターコンクールへの応募、各種パンフレットや冊子表紙などの制作協力などにも取り組みました。

また、夏には関雄介さん（山城高校卒業生）の指導により、せんべいの掛紙デザインに挑戦し、27 年 3 月には部員がパッケージイラストを描いたさくらクリームせんべい（関製菓）が京都駅などの店頭で並ぶことになりました。

イラスト、漫画、アニメなどの分野の技術向上をめざして、これからも地道に活動を続けていくつもりです。



最近発行した部誌

弓道部

木下 瑞希（2 年 7 組）

2 年 19 人、1 年 22 人と多人数で活動しており、練習場所には苦勞しているものの、みな日々の練習の中で努力し上達しています。

そして今年度は、総体から全国高等学校弓道選抜大会京都府予選に至るさまざまな大会において、多くの部員が健闘、入賞し、近畿大会や全国大会にも出場することができました。

次年度には今までの結果を大きく越え、山城の強く美しい弓道を伝えていけたら、と思います。



鹿児島での全国大会にて

剣 道 部

顧問 田内 浩

- ① 京都府高校総体 女子団体ベスト8（2年連続）
インターハイ京都府予選 男女団体、個人出場
京都府高校新人大会 男子団体ベスト16 女子団体ベスト16
京都府高校選手権大会 男子個人ベスト16
- ② 1年生：男2名、女3名
2年生：男4名、女3名
3年生：男4名、女3名 合計19名
- ③ 部員数は多いとは言えないが、有望な選手が集まっており、団体でベスト8以上に入り近畿大会出場、また全国大会が狙えるように、日々努力していきます。
OB会である、京三中山城剣友会から様々な御支援を頂き、稽古会も定期的に行っています。先輩方の期待に応えられるように頑張ります。

硬式野球部

池元 豊喜（2年4組）

- ① 硬式野球部は「文武両道」「走姿顕心」を部訓とし、日々の練習・勉学に真剣に取り組みました。休日には、地方で練習試合を行い、実践の経験を積み上げていきました。また、各個人が伝統ある山城高校硬式野球部の一員であることを自覚し、責任を持った行動を行ってきました。そして、夏の全国高校野球選手権大会京都大会では、伝統と誇りを胸に挑み、23年ぶりのベスト4という結果を残しました。
- ② 2年23名、1年19名、マネージャー1名
総勢43名
- ③ 山城高校硬式野球部の伝統、部訓を受け継ぎ、高い志を持ち、チーム一丸となって日々の練習に取り組んでいきます。また、自分たちに関わるすべての人や、与えられた環境への感謝を忘れず、精進していきます。練習・試合・遠征などの活動を通して成長し、夏の大会で先輩を超え、甲子園出場を果たします。



サッカー部

顧問 前田尚克／古山三樹夫／岡田さとみ／宮崎 又嘉

- ①・京都高校サッカー新人大会ベスト4
 - ・全国高等学校総合体育大会京都府予選ベスト4
 - ・全国高校サッカー選手権大会ベスト8
- ②・1年生29名 2年生35名 3年生21名
 - ・マネージャー 2名（計87名）（2/1現在）
- ③・先輩方の期待に応えられるよう、前年度以上の成績を目指して、日々努力しています。



全国高校サッカー選手権大会京都予選の始まる前に撮影した全員での集合写真です。

山岳部

顧問 田中 逸郎

- ① 4月 新歓ハイク「湖南アルプス」
- 5月 3年追出し山行「沢の池」
- 6月 予備合宿「比良釈迦岳」
- 8月 夏合宿「立山」
- 9月 秋合宿「白山」
- 10月 近郊登山「比良武奈ヶ岳」
- 11月 京大公開講座「芦生研究林」
- 〃 集中登山「六甲山」
- 3月 春山講習会「乗鞍・上高地」



夏合宿「奥大日岳山頂付近の残雪とハクサンイチゲ群落の中を歩いています。背景は剣岳」

詳細は HP ヤマレコ山城高校山岳部をご覧ください

<http://www.yamareco.com/modules/yamareco/clubrecs-561-listview.html>

- ② 1年生：男3名、女2名
 2年生：男5名、女1名
 3年生：男4名、女3名 合計18名
- ③ その季節ならではの良さを求めて山へ通おうと思っています。山を好きになり1人で山に行ける読図力と生活技術力を身に着けることが課題となります。



秋合宿「白山中腹の紅葉が綺麗。普段はテント泊ですが今回は初めて避難小屋泊にチャレンジ」

ソフトテニス部

顧問 西村 嘉人

- ① 全国高校総体個人戦京都府予選男子個人出場・男子団体出場
 府選抜個人戦京都府予選男子個人出場
- ② 1年生：男子3名 女子2名
 2年生：男子2名 女子7名
- ③ 部員数は多いとは言えませんが、練習を重ね、予選を勝ち抜いて継続的に府大会へ進出できるよう励んでいきたいと思っています。

卓球部

福田 裕也（2年2組）

- ① ・京都府高等学校夏季卓球大会男子団体第3位、個人ベスト8
 ・近畿新人卓球大会出場！！
 ・京都府公立高団体優勝！！ 個人3位！！
 ・全日本ジュニア京都予選ベスト16
 ・近畿高等学校新人秋季大会出場！！
- ② 3年男6人、2年男6人・女1人、1年男3人 合計16人
- ③ 今年度は、目標としていた公立高団体での優勝や近畿出場などは達成することはできませんでしたが、目標以上の結果を残すことはできなかったのも、次年度こそ新チームになってから決めた最大目標である近畿大会ベスト16以上の結果を残せるように毎日の練習に励んでいきたいと思っています。僕たちが引退した後も、決して目標

を下げることなく、さらにレベルアップしていくためにも後輩の育成に取り組んでいきたいですし、新たに女子の部員も募って男女ともに強い部活にしていけたらと思います。

ダンス部

顧問 安野 留三子

- ① 特別養護老人ホーム健光園を慰問、北区民祭り（於 船岡山公園）、北区ゴミ減量作戦 ECO 祭りで披露した。
- ② 1 年生 男子 3 名、女子 23 名
2 年生 男子 2 名、女子 18 名
3 年生 男子 4 名、女子 20 名
合計 70 名
- ③ 次年度も昨年度・今年度に引き続いて全国決勝大会や西日本大会に於て更なる上位入賞を目指して日々ダンスを極めていきたい。また、北区をはじめ、地域のイベントに参加させていただき、ダンスを通して笑顔と元気を届けられる活動を続けていきたいと思っています。



ダンス部員 全体写真：今年度山城祭でダンス発表をした直後のスナップ

平成 26 年 8 月 3 日（日）に第 7 回日本高校ダンス部選手権 Fit's DANCE STADIUM 近畿・中国・四国地区予選会が、神戸文化ホールで開催され、本校ダンス部男子生徒がスモールクラスで全国決勝大会【19 日（火）於 パシフィコ横浜・国立大ホール】に出場し、審査員特別賞を受賞した。因みに各地域の予選出場チームはビッグクラス 217 校、スモールクラス 132 校 計 347 校であった。
以下 6 名の参加生徒が審査員特別賞で表彰された。

3 年 1 組	奈須	大季
3 年 1 組	割石	太郎
3 年 2 組	西川	智久
3 年 4 組	小林	隼人
2 年 3 組	為本	広輝
2 年 6 組	畑中	登希



（提供 産経新聞）

平成 27 年 1 月 25 日 (日)

北区民ふれあい事業

北区民文化フェスティバルに北区市役所から出場依頼を受け、ダンス部 1 年生選抜メンバーが出させていただけることとなりました。演目は、「忍者ハットリくん」です。



去る平成 27 年 2 月 8 日 (日) 文化パルク城陽プラムホール (近鉄寺田駅) にて第 60 回京都府学校ダンス発表会が行われた。

出場生徒約 600 名 作品数は教科の部 21 作品、部活動の部 27 作品、教員の部 1 作品の計 49 作品が発表された。

本校は教科の部 2 作品、「P r e t t y ばみゅばみゅ」「T S U K I」部活動の部 2 作品、「真夜中のパーティー」「ヤマシロダイナマイツッⅡ!!!」教員の部「Little by Little by Little」の計 5 作品を発表した。

教科の部

作品名 「T S U K I」



教員の部

作品名 「Little by Little by Little」



部活動の部

作品名 「真夜中のパーティー」

第 7 回 日本高校ダンス部選手権

新人戦 DANCE STADIUM

西日本大会 ベストスマイル賞 受賞作品



テニス部

顧問 山内 正人

- ① 京都府高体連主催の大会(個人戦：年3回、団体戦：年3回)
京都府テニス協会主催の大会(個人戦：年3回)において成果を挙げ、近畿地区大会から全国大会への出場を目指して、毎日練習しています。
- ② 男子 1年15名 2年18名 3年13名 計46名
女子 1年 9名 2年11名 3年 8名 計28名 合計74名
- ③ 男女とも、京都府下大会でベスト4に入ることと、近畿地区大会に出場することを目指します。

バドミントン部

顧問 渡邊 一郎

- ① 平成26年5月インターハイ京都府予選団体戦ベスト16位
(ブロック予選1位通過)
平成26年5月インターハイ京都府予選個人戦(ブロック予選)参加72名
シングルス ブロック準優勝 3年 1名
シングルス ブロック3位 3年 1名
シングルス ブロック3位 2年 1名 以上3名が表彰される。
平成26年11月新人大会京都府予選団体ベスト16位
(ブロック予選1位通過)
(ベスト8をかけた一戦で、優勝校の乙訓高校と対戦し敗退)
- ② 当初登録メンバー
1年17名
2年14名
3年16名 計47名
- ③ 団体戦及び個人戦の両方で出場選手のほとんどの選手が、府下大会へ進出できるような状態になってきています。普段の練習密度も高く、生徒のモチベーションも高い状態にあります。実質的にベスト8に入る実力を十分にもっていると思いますが、次年度は府下の4強を目指して頑張りたいと思っています。

夏の合宿風景の写真です。合宿は、毎年、岡山県の真庭市にある落合総合運動公園内にある白梅体育館でおこなっています。高原地帯にあり、真夏でも比較的涼しく、練習には最適な体育館です。合宿の2日目には、岡山県の地元の高校と練習試合をし、新しい練習方法などについても相互に交換し、交流を深めています。



バトントワリング部

顧問 河村 明美

- ① 6月に行われた「第40回京都府高等学校バトントワリングコンテスト」のボンボンの部で特別賞を受賞しました。また、文化祭でも中庭で演技を披露し、皆さんに楽しんでいただきました。
- ② 今年度は新入生35人を迎え、総勢60人近くで活動してきました。
(1年35人、2年15人、3年8人)
- ③ 人数の多さと結束力を生かして、パワフルに活動していきたいです。



9月5日の文化祭最終日の中庭でのパフォーマンスのあとに撮りました。

美術部

顧問 宮岡 秀次

- ①・校内文化祭において作品展示
 - ・京都府高等学校総合文化祭に2名出品
 - ・京都市北区人権作品展のポスター制作
 - ・紙芝居の制作・校内発表会の開催
 - ・京都府学校文化・芸術祭 教育美術展覧会において作品展示
- ②・1年生 1名 2年生 5名
- ③・油絵制作を中心に、幅広い分野の領域に挑戦し、表現力を向上させる。
また、制作した作品の発表の機会を増やしていく。

ラグビー部

顧問 江村 俊夫

- ① 合同チームとして試合出場
 - 総体
 - 全国大会予選
 - 近畿大会予選
- ② 3年生2名、2年生2名、1年生1名、マネージャー1名
- ③ 単独チームとして大会へ出場

女子バレーボール部

顧問 美馬 信彦

- ① インターハイ予選 ベスト12
 - 近畿高等学校バレーボール選手権大会出場
 - 1回戦敗退
 - 全国高校選手権大会京都府予選ベスト16
- ② 1年生 14人
 - 2年生 9人
 - 3年生 11人
 - 合計 34人
- ③ 伝統ある山城高校の部活動に恥じないように頑張ります。



近畿大会出場時の集合写真



1年生普通科の生徒が、1月に志賀高原へスキー研修旅行に出かけます。昨年の研修の様子を掲載します。スキーボードをする生徒もいます。

やましろスクールライフ

第2号

京都府立
山城高等学校



1月に1年生文理総合科の生徒は、特別研修を行います。
まず、京都大学を訪問し、医学研究科特定准教授菅正登氏の講義の聴講、IPS細胞の研究でノーベル賞を受賞された山中教授の研究室など医学部・薬学部のラボ・研究室の見学、研修医との対話の後、グループごとの発表報告会を行い、最先端医療の現場を直接体験して多くのことを学びます。
また、2年生6月のマレーシア研修に向けて、同時通訳者を招いて「ミニマニケーション能力を高めるとともに、マレーシア政府観光局のアドバイザー・ライマン氏をお招きして、マレーシア研修を行います。

家庭科の 様々なプログラム

- 児童館訪問実習
- 保育園児観察実習
- 高齢者福祉施設訪問
- 食育実践見学実習
- 魚の手開き調理実習
- 煎茶のおいしい入れ方講座
- 着物着付け教室
- 洋服着こなし教室
- 住宅展示場見学実習
- 消費者トラブル予防講演
- 自助具の果たす役割講座
- ソーラー発電の果たす役割講演



論文コンテスト

グローバルネットワーク京都事業
「京都から世界へ」または「日本から世界へ」をテーマに論文作成

プレゼンテーション

グローバルネットワーク京都事業
「国際社会と日本」について英語によるプレゼンテーション

スピーチコンテスト

校内実施
英語によるスピーチコンテスト



ヤマト運輸高校生経営セミナー

ジュニアアチーブメント日本主催
チームでビジネスプランを立案しプレゼンテーションを行う。

KUBIC

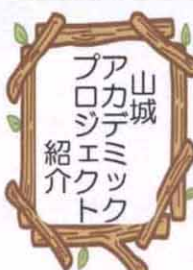
関西大学商学部主催
自由発想のビジネスプランを提案し、プレゼンテーションを行う。

NRJ学生小論文コンテスト

野村総合研究所主催
「創りたい未来、～あなたの夢とこたわり～」をテーマに論文作成。

「高校生の税に関する作文」コンクール

国税庁主催
「税」に関する作文の作成。



連歌交流会

国際日本文化研究センター 光田和伸准教授、京都連歌の会 関本裕氏を講師として、2年生文理総合科の生徒が7月から10月にかけて3回「連歌」の講義を受けてきました。中世の蜀合の文芸である「連歌」について学習し、実作に取り組みることにより、表現力を引き出し、教養を深めていくことを目的としています。11月9日には、嵐山の「時雨殿」で府内4校の生徒に府外から参加の数名の生徒を加えて、第1回京都府高校生全国連歌交流会に参加し連歌の実作に挑戦しました。

手話弁論大会

第3回山城高校手話弁論大会を、11月19日(水)に開催します。聴障生・手話者・今年ほかの他の生徒から出場者を公募して、高校生として主張したいことを手話を交えて弁論する予定です。

山城21世紀塾

11月12日(水)、同窓先輩である京都府警察本部警視の村上真喜子氏をお招きし、第2回山城21世紀塾(講演会)を実施しました。山城21世紀塾は本校同窓の諸先輩をお招きし、将来を担う後進への期待を語っていただき、先輩同窓生から様々なことを学ばせていただく記念講演会です。平成15年から続く山城の新しい伝統行事です。

祝

弓道部女子団体
全国選抜大会
出場決定！

やましろスク
ールライフ
第2号

京都府立
山城高等学校

ドイツ姉妹校
ギムナジウム・
フィルダーベン
デン校との交流



ウェルカムセレモニー



10月3日から20日の18日間、山城高
校と姉妹校提携しているドイツのギム
ナジウム・フィ
ルダーベンデ
ン校の生徒20名
と引率者6名
が日本を訪れ、
山城高校生と
交流を行いま
した。

ニーをはじめとして、ウォーターボー
イズ公演の見学、ダンス部の体験など
を楽しまました。翌週の6日頃から
は1・2年生の各クラスに入って、山
城高校の授業やホームルーム活動に参
加して日本の学校生活を体験し、生
徒との交流を深め
ました。



英語の授業では
コミュニケーション
力を高めるプロ
グラムを共同で体
験したり、家庭科
の授業ではPTA



中間テスト最終
日の午後には金閣
寺を訪れ最後の友
好を深めました。
20日のフェアウェ
ルセレモニーに到
るまでの18日間の交
流は、 फिल्ダー

て通常の座学授業
や体育の授業にも
参加してもらうこ
とで、山城高校の
生徒と फिल्ダー
ベンデン校の生徒
は様々なかわり
の中でミニケー
ションを楽しみ親
交を深めました。



の皆さんにもお世話になって補物の着
付け体験をしたり、芸術の授業では団
扇に書を書く書道
体験、放課後の部
活動では茶道部
のお点前などを体験
し、日本独自の文
化にもたくさん触
れてもらいました。
一週間にわたって



ベンデン校の
生徒にとっ
ても、山城高
校の生徒にと
ってかけがえ
のない国際交
流体験となり
ました。

フェアウェルセレモニー



ベンデン校の
生徒にとっ
ても、山城高
校の生徒にと
ってかけがえ
のない国際交
流体験となり
ました。

国際交流

台湾国立
員林高級中学
校との交流

11月5日に台湾国立員林高級中学校
の生徒36名が本校を訪れ、1年文理
総合科の生徒と交流会を行い親交を深め
ました。午前中だけの短い滞在でしたが、
生徒たちはすくすくうわけて写真
を撮り合ったりしました。



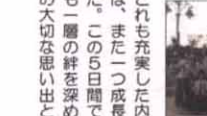
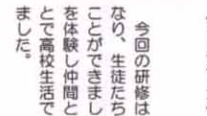
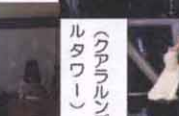
中国長春市
第二实验中学
校との交流

10月31日に中国吉林省長春市の第二
实验中学の生徒15名
が本校を訪れ、1年文
理総合科の生徒と一
緒に学校紹介・地理ク
イズなどの交流会を行
い、午後からは英語・体育
の授業に参加して交流
を深めました。自分の
コミュニケーション力
に自信がなくても、積
極的に伝えようとする
は通じ合えるものだ
と実感できる貴重な体験
となっています。



文理総合科
マレーシア
研修

2年生文理総合科の生徒が、6月16
日〜20日に、マレーシアへ研修旅行に
出かけました。
この研修は、英語をツールとして様々
な人とコミュニケーションをとり、そ
の国の歴史や文化
を学ぶことでクロ
バルな視野を育て
ることを目標とし
ています。
(直前研修の様子)



今回の研修はどれも充実した内容とな
り、生徒たちは、まだ一つ成長する
ことができました。この5日間、異國
を体験し仲間とも一層の絆を深めたこ
とで高校生活での大切な思い出となり
ました。